

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2015 年度後期分）

2015 年 12 月 21 日

計画研究班名：A01-1

申請者氏名・所属・職名：田中雄大・東京大学大気海洋研究所・特任研究員

申請者連絡先 電話・メール：04-7136-6047, tanaka-t@aori.u-tokyo.ac.jp

対象者氏名・所属・職名：田中雄大・東京大学大気海洋研究所・特任研究員

対象者連絡先 電話・メール：04-7136-6047, tanaka-t@aori.u-tokyo.ac.jp

相手氏名・所属・職名：Naomi Asantewa-Sechereh, The Royal Society, Events Officer,
Scientific Programmes

相手連絡先 住所・電話・メール：+44-20-7451-2515, kavli.events@royalsociety.org

申請項目（複数可、数字を記入）：7

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：The Royal Society Scientific Event での微量金属元素循環に関する研究動向調査

成果報告要旨（A4 数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること）：

2015年12月7日から8日まで、英国ロンドンで、“Biological and climatic impacts of ocean trace element chemistry”というテーマで行われたシンポジウムに参加し、講演を聴講した。微量金属元素の海洋循環について、近年の観測・数値モデルから得られた知見が発表された。その後、英国ミルトン・キーンズで、12月9-10日に行われた会議では、“Quantifying fluxes and processes in trace-metal cycling at ocean boundaries”というテーマのもと、国際研究プロジェクトGEOTRACESで得られたこれまでの知見を総合し、GEOTRACESが行う今後の研究・観測の方針について議論が行われた。この会議での議論をまとめた論文が、Philosophical Transactions of the Royal Society Aに投稿された。

全体計画・計画研究への寄与：

他の計画研究班とも協同して、過去および今後の鉛直混合の観測を通して、海洋内部での栄養塩や微量金属元素のフラックスの定量化に寄与したい。

制度の改善点・感想等：

普段聴く機会が少ない海洋化学関連の会議に参加する機会を与えて頂き、感謝申し上げます。また、この会議へ参加するにあたり、東京大学大気海洋研究所の小畑元准教授と北海道大学低温科学研究所の西岡純准教授には、大変お世話になりました。また、東京大学大気海洋研究所の安田一郎教授と小林奈緒美さん、日比野英美さんには、会議参加のための事務手続き、準備などで大変お世話になりました。重ねて感謝申し上げます。

実際の日程：

2015 年

12 月 6 日：東京羽田発・ロンドン着

12 月 7-8 日：ロンドンでのシンポジウムを聴講

12 月 8 日：ロンドンからミルトン・キーンズへ移動

12 月 9-10 日：ミルトン・キーンズでの会議に参加

12 月 11 日ロンドン発

12 月 12 日東京成田着

使用した予算内訳（旅費とその他の経費に分けて記述）：